

令和4年(2022年) 12月14日(水) 14023号



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://homenikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

鉱工業出荷・総供給10月

前月比マイナス1.1% 2か月連続低下

9月の反動、外需も弱含み

経済産業省

経済産業省はこのほど2022年10月の鉱工業出荷内訳・総供給の概要を発表、出荷は指数94.1(100=2015年、季節調整済)、前月比マイナス1.1%と2か月連続の低下となった。部材供給不足が緩和したことなどから3か月連続で上昇していたが、9月は反動などから内需が弱く4か月ぶりに前月比低下、10月は外需も弱く2か月連続で低下した。

内需は生産財、建設財が低下に寄与し、外需では耐久消費財が低下に寄与した。内需は同マイナス0.5%と2か月連続の低下、外需は同マイナス1.5%と2か月ぶりの低下となった。10月の指数値は内需が90.7、外需が105.8。新型コロナ拡大直前の2020年1月はともに97.1だったが、外需は拡大以前の出荷水準を超えているが、内需はいまだ低水準が続いている。

内需の業種別では12業種中6業種が前月比で低下。生産用機械工業は前月比マイナス8.1%と低下、なかでも半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置、機械工具などが低下した。次いで低下したプラスチック製品工業では工業用プラスチック製品、プラスチック製管・フィルム・シート・建材類などがマイナスに寄与した。

外需では12業種中6業種が前月比低下。低下が大きかったのは生産用機械工業で、なかでも建設、鉱山機械、金属加工機械などが低下し、次いで電子部品・デバイス工業、なかでも集積回路、電子部品などが低下した。

財別分類では、内需で低下が大きかったのは生産財で次いで建設財が低下。外需では耐久消費財のマイナス寄与が大きかった。

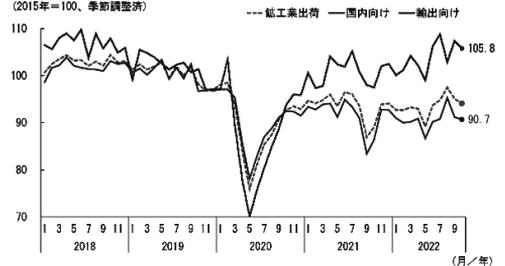
外需の先別では、欧州、韓国で前月比上昇となったが、他の主要地域は全て低下。低下が最も大きいのは中国で、生産用機械工業、輸送機械工業などが大幅に低下した。次いでASEANが石油・石炭製品工業、生産用機械工業などにより低下。欧州は輸送機械工業、プラスチック製品工業などの上昇により2か月連続の上昇となった。

中国では9月に大きく輸出を伸ばした品目の反動が目立っており、需要が弱くなっているのではないともみられている。

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2022年10月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは90.7(前月比-0.5%)と2か月連続の低下、輸出向けは105.8(同-1.5%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)



10月は大きく円安に動いており、輸出には好材料だが数量的増加には時間がかかり、11月以降の出荷動向が注目される。

輸入をみると、10月は季節調整済指数で117.9、前月比6.5%と3か月連続の上昇。業種別では13業種全て前月比上昇となり、電子部品・デバイス工業、鉱業などが上昇に寄与している。国産は同マイナス0.7%と2か月連続の低下となり、この結果、鉱工業総供給は同1.7%と2か月ぶりの上昇となった。

鉱工業出荷は、部材供給不足の影響緩和が継続していたことなどから回復傾向を示してきたが、10月は前月の反動などによる海外需要の減少が影響し低下。しかし、これまで出荷全体を牽引していた輸出が再び上昇傾向に転じたための円安基調も続くことと見込まれ、回復傾向に向かうとみられている。ただ、中国の「ゼロコロナ政策」で再び中国各地の経済活動が停滞するなど、コロナや世界的な半導体不足、物価上昇も十分注意する必要があるとしている。

関西地区新年賀詞交歓会日程 (本紙既報)

- ◆関西電線販売業協同組合新年賀詞交歓会▷日時：1月11日11時30分～▷会場：スイスホテル南海大阪
- ◆関西非鉄リサイクル協同組合年賀交換会▷日時：1月11日18時30分～▷会場：ザ・ガーデンオリエントアル大阪
- ◆関西電線関連団体賀詞交歓会▷日時：1月12日15時～16時▷会場：中央電気倶楽部5階ホール
- ◆関西亜鉛工業会新年会▷日時：1月27日18時～▷会場：うかむ瀬

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



11月の銅の概況及び12月の見通し (3)

予想レンジ

LMEセツル	8,000-9,000ドル	☀
建値	110万円-130万円	☀
為替	135円~140円	円高

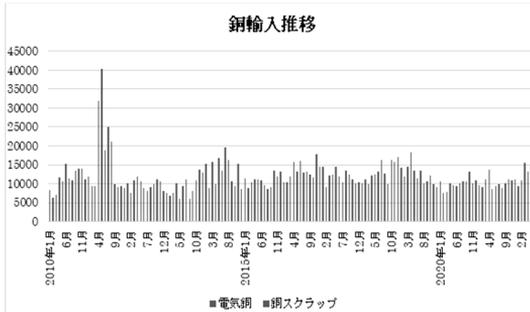
(1か月間TTM)

輸入

電気銅は+44.4%の709 t、スクラップは+18%の1万2,522 t。

輸入	8月	9月	10月
電気銅	714 t	257 t	709 t
前年比	+19%	-53.2%	+44.4%
スクラップ	1万1694 t	1万1241 t	1万2522 t
前年比	+34.4%	+19%	+18%

輸入推移



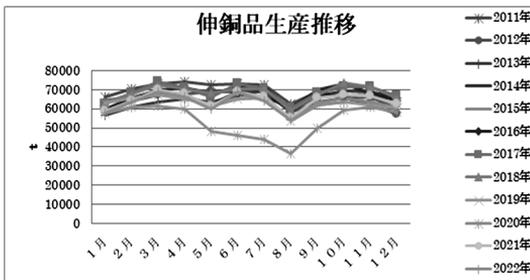
出典 財務省 貿易統計

■前月の国内指標

伸銅品生産

10月伸銅品生産量は6万3,320トン、2か月続けての6万トンだった。

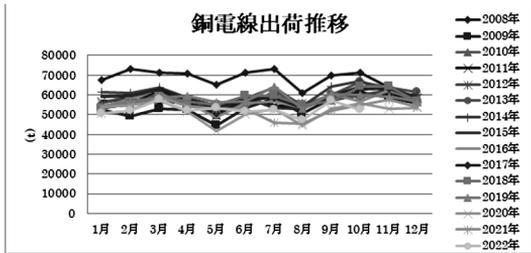
ただ、前年同月比6.6%減少し、10か月連続のマイナスとなった。マイナス幅はゆっくりと拡大している。



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発の出荷速報 (推定)

前年比-4.7%の5万2,700 t。内訳は国内が-4.5%、輸出が-15.3%。



出典 日本電線工業会

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると10月の自動車生産台数は前年比+36.1%の65万5,459台。輸出は前年同月比+35.2%の30万6,359台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると10月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+1%の22万1,541台。

内訳は、乗用車が+2.2%、貨物が+6.5%、バスは+10.6%。

【住宅着工戸数】

10月の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加したが、持家が減少したため、全体で前年同月比1.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の増加となった。

- 新設住宅着工戸数は76,590戸。
 - ・前年同月比1.8%減、3か月ぶりの減少。
- 新設住宅着工床面積は6,030千㎡。
 - ・前年同月比5.6%減、2か月連続の減少。
- 季節調整済年率換算値では871千戸。
 - ・前月比1.5%増、先月の減少から再びの増加

【伸銅品生産】

10月伸銅品生産量は6万3,320トン、2か月続けての6万トンだった。ただ、前年同月比6.6%減少し、10か月連続のマイナスとなった。マイナス幅はゆっくりと拡大している。半導体向けが好調をけん引している。ただ、半導体向けでも民生用に衰えが見えてきた。

中国国内において、スマートフォンを代表とする電子機器の需要が減速している。また、中国国内のロックダウンに伴う部品等の供給不足が完成品の生産を遅らせている。自動車生産は改善してきて、部品在庫も改善基調にある。

住宅は、新規分が着工遅れや部材遅れから伸びないが、リフォーム需要に限って伸びている。

エアコン自体は、建設関連の遅れ、エアコン部品の遅れが引き続き足を引っ張る。エアコンの需要期を過ぎており、エアコンメーカーの動きも変わってきた。

(次頁へ)

エアコンの在庫不足解消のため生産を続けるメーカーと、需要期過ぎて例年通り生産台数を落とすところと分かれているとのこと。まだ品目によって時折前年の実績を上回ることがあるが、伸銅品の生産量は、減速感がゆっくりと強まってきたように見える。

現在の伸銅品の生産減は、中国のスマートフォン需要減など一部需要の落ち込みが見られるが、あくまでも部品不足に伴う生産遅れが問題のものである。

銅条は、同比2ヶ月連続マイナス。1年前より少ないが、それでも10月の数量としては、悪くない。車載やファクトリ向けのディスクリート半導体の需要が好調だが、民生用の悪化が目立って来た。半導体全体としては伸びている。中国スマートフォンの販売不振のため、スマートフォンを生産する韓国や中国の需要が減っている。

黄銅棒は、同比10ヶ月連続マイナス。新規住宅向けが伸びないが、リフォーム向け需要に支えられている。ガス機器の需要期に入った。パルプの新規受注は伸びて来ない。

【見通し】【自動車】

10月の自動車生産が+36.1%。11月国内販売台数が前年比+1%で3カ月連続生産、販売共に増加したが、販売が微増。ようやく大幅に生産回復してきた販売が同時に伸びるか注視。

【伸銅品生産】

10月伸銅品生産量は6万3,320トン、2か月続けての6万トンだった。ただ、前年同月比6.6%減少し、10か月連続のマイナスとなった。マイナス幅はゆっくりと拡大している。半導体向けが好調をけん引している。ただ、半導体向けでも民生用に衰えが見えてきた。

【電線】

住宅着工の減少から再びマイナスに今後注視。

【銅輸出入】

財務省の貿易統計によると、日本からの銅スクラップ

プ輸出は、輸出量の伸び悩みが継続している。最大輸出先の中国向けを見ても、大きく減少していないものの、昨年を少し下回る輸出量の水準で推移している。

10月の日本からの銅スクラップ輸出量は2万788トンだった。ついに4か月続けて3万トンを下回った。昨年後半から、3万トンを超えた月は、2回しかなく、その前の1年がほとんど3万トンを超えていたのと比較しても輸出量が減っていることがわかる。そして前年同月比17.8%減少し、3か月続けてのマイナスとなった。

【スクラップ景況予想】

流通【一次問屋】在庫は今月銅建値が117万から一時125万と上昇とその後116万と暴落。

米FRB利上げによる下落警戒感や中国ゼロコロナ策での半導体などの影響から生産減⇒スクラップ発生源から在庫薄。需要面に関して中国ゼロコロナ策緩和から生産の大幅回復に伴い重要は急増するものと思われる。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米の金融政策、②中国のゼロコロナ対策（ロックダウンなど）の動向。

①に関しては、米国に関してパウエル議長が先月30日の講演で早ければ今月の会合で利上げ幅を縮小することを示唆。そのうえでインフレ率は依然高すぎるとして利上げなどの金融引き締めを継続する考えを改めて強調。年内は0.5%の利上げを行うのではないかと。

②に関しては、ゼロコロナ策への反発が全国規模で起こっていることから上海の制限が解除、また副首相が保健当局の会議で2日続けて「ゼロコロナ」政策の継続について言及せず、感染対策の適正化をさらに進める考えを示した。中国政府が今後感染対策を緩和するのではないかと。

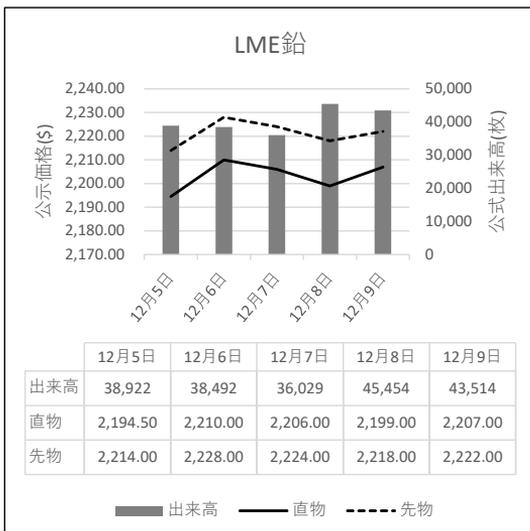
これらを踏まえた10月の銅価格は8,000-9,000ドル(セツル)との予想。

ドル円値は130円~140円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては110万-130万円程度と予測している。

(「11月の銅の概況及び12月の見通し」おわり)

〰️ LME公式値週間推移 12月5日~12月9日(現地)



故銅市況

13日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,490.50ドルより119.00ドル安の8,371.50ドル。直物の終値は、前営業日の8,507.00ドルより177.75ドル安の8,329.25ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,525.00ドルより110.00ドル安の8,415.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,543.00ドルより169.00ドル安の8,374.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は、前営業日の387.85セントより7.80セント安の380.05セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の1月限は、前営業日の6万6,800元より520元安の6万6,280元。

13日の東京為替市場TTSレートは、前日の137.76円より1.07円の円安ドル高、1ドル=138.83円。13日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,371.50ドル。この値と13日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の120万7,000円より7,000円安の120万円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円) (12月8日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1038~1043、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1003~1008、並銅は968~978、込銅（高品位=約97%）は958、セパは692~697。コーベルは要り用筋で633、それ以外は618ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋643、それ以外613~623どころの値頃。並青銅鋳物削粉は847~852どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1018~1038、上銅新くずが983~1003、普通上銅が958~978、2号銅線が950~970、並銅が948~968、込銅（94-97%）が896、込銅（90-93%）が898、下銅が447~497、セパが657~692、コーベルが573~618、黄銅棒地が568~613、黄銅削粉が563~608、黄銅ラジが528~536、交叉ラジが559~616、黄銅銅鋳物が543~550、送りが332~351、上青銅鋳物が844~864、並青銅鋳物が824~839、上青銅鋳物削粉が839~859、並青銅鋳物削粉が814~834どころ。

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区（12月前半）

2S=225円~245円、63S=209円~260円、アルミホイール(1P)=126円~240円、ビス付サッシ=100円~109円、エンジンコロ=105円~113円、込合金(機械鋳物)=101円~109円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

関西地区（12月前半）

2S=208円~210円、63S=210円~245円、印刷版=200円~205円、アルミホイール(1P)=191円~204円、ベースメタル=149円~153円、機械鋳物=106円~109円、ダライ粉=90円~93円、ビス付サッシ=88円~123円、缶プレス=83円~88円。

この日、電気銅建値は120万円に据え置かれた。

為替動向

12日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前週末と比べ0.0010ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0520ドル~1.0530ドルで推移した。

ECBの積極的な利上げにより欧州の景気先行きが懸念されユーロ売りドル買いが優勢になった。英ポンドも対ドルで下落。同じく0.0040ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2250ドル~1.2260ドルで推移した。

12日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落した。前週末と比べ1.10円の円安ドル高、1ドル=137.60円~137.70円で取引を終えた。米国では13日に11月CPI、14日にFOMCの結果発表と重要な経済指標の公表が控えており、金利上昇の局面を受け円買いドル売りの持ち高解消が出た。

13日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.85円の円安ドル高、1ドル=137.53円~137.55円で推移した。先行市場での円売りドル買いの流れを引き継いで円が売られた。ただ、新規の円売りには材料が乏しく円の下値は堅かった。

円は対ユーロでも下落。同じく1.05円の円安ユーロ高、1ユーロ=144.92円~144.96円で推移した。

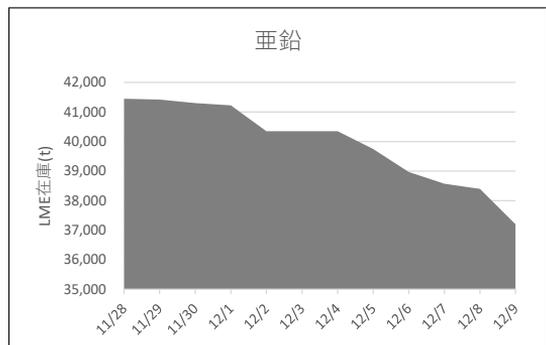
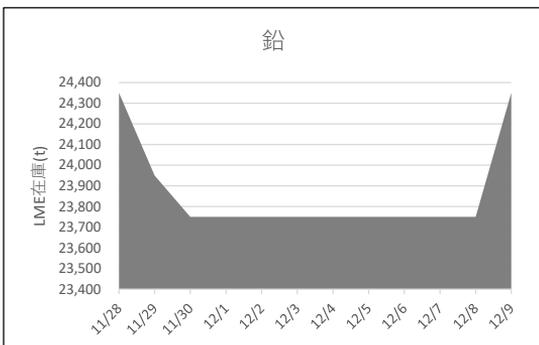
日刊金属

6 ヵ月 : 46,200 円

外電配信料
(税込)

12 ヵ月 : 92,400 円

LME認定倉庫在庫推移 11月28日~12月9日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は8,329.25ドル
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場は反落
 LME非鉄相場は総じて軟調 アルミ直物終値は2,375.99ドル



13日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、12月10日入電の8,490.50ドルより119.00ドル安の8,371.50ドル。2営業日の続落で1.94%安。この週1.40%の下落。12月に入って2.12%の上伸。3か月物の前場売値は、12月10日入電の8,525.00ドルより110.00ドル安の8,415.00ドル。2営業日の続落で1.54%安。この週1.29%の下落。12月に入って2.56%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地12月9日の8万5,425トンより1,125トン減の8万4,300トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、12月限が、12月10日入電の387.60セントより7.75セント安の379.85セント。2営業日の続落で2.11%安。この週2.00%の下落。12月に入って1.85%の上伸。1月限は、12月10日入電の387.75セントより7.80セント安の379.95セント。2営業日の続落で2.14%安。この週2.01%の下落。12月に入って1.63%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、12月限が、12月10日入電の6万6,950元より700元安の6万6,250元。3営業日ぶりの反落で1.05%安。この週1.05%の下落。12月に入って1.97%の上伸。中心限月に当たる1月限は、12月10日入電の6万6,800元より520元安の6万6,280元。3営業日ぶりの反落で0.78%安。この週0.78%の下落。12月に入って2.30%の上伸。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、12月10日入電の2万4,700.00ドルより800.00ドル安の2万3,900.00ドル。反落して3.24%安。この週3.24%の下落。12月に入って4.03%の上伸。3か月物の前場売値は、12月10日入電の2万4,625.00ドルより770.00ドル安の2万3,855.00ドル。反落して3.13%安。この週3.13%の下落。12月に入って5.20%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地12月9日の3,140トンより125トン減の3,015トン。

鉛も反落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、12月10日入電の2,207.00ドルより17.00ドル安の2,190.00ドル。反落して0.77%安。この週0.77%の下落。12月に入って1.20%の上伸。3か月物の前場売値は、12月10日入電の2,222.00ドルより27.00ドル安の2,195.00ドル。反落して1.22%安。この週1.22%の下落。12月に入って1.15%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地12月9日の2万4,350トンよりトン減の2万4,350トン。

亜鉛は続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、12月10日入電の3,247.00ドルより37.00ドル高の3,284.00ドル。3営業日の続伸で4.59%高。この週1.14%の上伸。12月に入って10.42%の上伸。3か月物の前場売値は、12月10日入電の3,219.00ドルより23.00ドル高の3,242.00ドル。3営業日の続伸で4.14%高。この週0.71%の上伸。12月に入って9.45%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地12月9日の3万7,200トンより500トン減の3万6,700トン。

アルミは続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、12月10日入電の2,453.50ドルより63.50ドル安の2,390.00ドル。2営業日の続落で3.18%安。この週2.59%の下落。12月に入って0.13%の上伸。3か月物の前場売値は、12月10日入電の2,488.00ドルより58.00ドル安の2,430.00ドル。2営業日の続落で2.72%安。この週2.33%の下落。12月に入って0.45%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地12月9日の47万1,575トンより3万0,100トン増の50万1,675トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、12月10日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、12月10日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、12月10日入電より横ばいの2,388.00ドル。この週横ばい。12月に入って0.13%の上伸。3か月物の前場売値は、12月10日入電より横ばいの2,390.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、12月10日入電の2万9,850.00ドルより540.00ドル安の2万9,310.00ドル。2営業日の続落で5.68%安。この週1.81%の下落。12月に入って10.60%の上伸。3か月物の前場売値は、12月10日入電の3万0,050.00ドルより575.00ドル安の2万9,475.00ドル。2営業日の続落で5.83%安。この週1.91%の下落。12月に入って11.18%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地12月9日の5万3,226トンより198トン減の5万3,028トン。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME公示価格(US\$)／12月12日

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公示価格	8,371.50	23,900.00	2,190.00	3,284.00	2,390.00	1,860.00	2,388.00	29,310.00
	前営業日比	▲ 119.00	▲ 800.00	▲ 17.00	37.00	▲ 63.50	0.00	0.00	▲ 540.00
先物	公示価格	8,415.00	23,855.00	2,195.00	3,242.00	2,430.00	1,860.00	2,390.00	29,475.00
	前営業日比	▲ 110.00	▲ 770.00	▲ 27.00	23.00	▲ 58.00	0.00	0.00	▲ 575.00

海外非鉄金属相場

(12月13日 入電・現地 12月12日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 12月限, 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2350.0 (100.0), 2326.0 (▲42.8)

■NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35

■ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1786.60 (▲9.55), 10600 - 11200, 3.60 - 3.90, 1.71 - 1.81, 210 - 240, 8.50 - 10.00, 9.25 - 10.90, 46.00 - 47.00, 22.50 - 25.00, 3500 - 3800, 320.0 - 350.0, 88 - 93

■KLT M錫(MYR/KG、出来高トン)

Table with columns: (12日), (13日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: 3.7600, 4.4246, 3.7600, 4.4310

■LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル. Values: 84,300 ▲1,125, 3,015 ▲125, 24,350 -, 36,700 ▲500, 501,675 30,100, 2,020 -, 3,000 ▲80, 53,028 ▲198

■上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 78,546 13,320, 91,242 ▲4,235, 20,428 2,497, 44,001 5,313, 3,529 ▲139

■LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (12/13), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 8,400.5 -, 24,030.0 -, 2,175.5 -, 3,274.0 -, 2,424.5 -, 2,426.5 -

■上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 66250 19030 25040 15615 224610, 66280 18945 24760 15600 219930, 700 ▲260 ▲30 ▲175 ▲740, 18195 16690 4930 2665 828

※13日のKLT Mは入電がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 8372 23900 2190 3284 2390 29310, 66250 19030 25040 15615, 1203 3518 341 496 348 4269, 1209 1326 381 501 313, ▲8 ▲85 1 8 ▲6 ▲43 ▲14 ▲10 ▲4 1 ▲2

非鉄金属製品相場

(12月13日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1500	1465	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F	
建築用0.3ミリ	1550	1515	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	56~58
銅大板2×1×2	1630	1665	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	99.5~102
銅管(ベース)	1680	1665	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	104~107
水道用管(m当たり)13ミリ	1590	1575	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	152~155
銅棒25ミリ	1410	1435	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1465	1480	アルミ箔0.007ミリ	1125	1145	1.6mm	31.9~33.9
銅線0.9ミリ	1490	1495	〃 小板1ミリ	760	775	5.5sq	87~92.5
銅帯6×50	1420	1435	〃 大板1ミリ	740	765	14sq	217~231
銅平角線	1690	1665	〃 5052板	795	815	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1240	1255	〃 6061板	1325	1345	600V 3C×38	1654~1758
〃 0.3ミリ	1270	1285	〃 2017板	1250	1375	600V 3C×60	2547~2707
黄銅大板2×1×2	1390	1435	〃 線3ミリ	740	760	600V 3C×100	4279~4548
黄銅管	1745	1735	〃 快削棒50ミリ	960	980	6kV 3C×38	2653~2815
復水器用黄銅管	1715	1705	〃 合金棒50ミリ(17S)	945	960	6kV 3C×60	3705~3931
黄銅棒快削25ミリ	1005	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	900	920	CVV (関西-関東)	
六角棒	1035	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2	129~132
四角棒	1065	1120	白金(グラム)		◆4976	4C×2	173~177
鍛造用	1045	1100	パラジウム(グラム)		◆9427	6C×2	246~252
ネーバル	1145	1200	金(グラム)		◆8732	7C×2	281~288
高力	1145	1200	銀(キログラム)		◎115720	合金鉄 10月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1415	1435	レアメタル輸入価格	10月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有	270
黄銅平角線ロール仕上	1615	1645	金属ケイ素(99.99%未満)		488	〃 その他	315.6
黄銅条1.5×100	1235	1270	モリブデン酸化物		3714	フェロシリコン55%以上	354
リン青銅板一般用1.0ミリ	2630	2820	タンタル		53773	フェロクロム4%以上炭素含有	280.8
〃 バネ用0.3ミリ	2860	3060	マグネシウム		516	フェロモリブデン純分60%以上	3766
リン青銅棒25ミリ	2800	3010	コバルト		8393	フェロバナジウム	3563
リン青銅線3ミリ	3100	3310	インジウム		32605	フェロニッケル33%未満	669
洋白板一般用1.0ミリ	3840	3990				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3990	4150					

減摩合金		12月1日改定	銅合金地金		12月1日発表
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)		大阪
1種		4080	BC 1種		1235
2種		3975	2種		1550
3種		3860	3種		1630
4種		3405	6種		1335
5種		3235	7種		1450
7種		1255	YBSC 3種		1110
8種		1120	LBC 3種		1575
9種		970	PBC 2種		1650



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1200(8) 金 7,922(13)
 () 実施日 電気鉛 357(7) 銀 105,110(13)
 電気亜鉛 502(9) 錫(99.99%) 4,600(1)

キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (12月13日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 37,000 ~ 39,000(1)

非鉄原料		大阪		東京		地 金			
(炉前材)		仲間相場		仲間相場		大阪		東京	
1トン以上外税持込						高値		安値	
1 号 銅 線	1078	1073	電 気 銅	◎ 1165	◎ 1160	◎ 1167	◎ 1162		
2 号 銅 線	1036	—	電 気 亜 鉛	491	485	491	485		
上 銅 (新 切)	1049	1043	蒸 留 亜 鉛	479	473	479	473		
雑 ナ ゲ ッ ト	907	903	再生ダイカスト亜鉛2種	400	394	400	394		
並 銅	991	971	再 生 亜 鉛 (98%)	352	346	352	346		
下 銅	972	943	電 気 鉛	338	335	338	335		
銅 削 粉	966	946	再 生 鉛 1 号	320	310	313	308		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	325	321	318	314		
新 切 黄 銅 セ バ	792	803	錫 1 号	3600	3550	3600	3550		
コ ー ベ ル	760	761	ア ン チ モ ン	1650	1600	1650	1600		
黄 銅 棒 地	758	749	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	4200	4150	4200	4150		
黄 銅 削 粉	752	745	コ バ ル ト	◆ 7400	◆ 7100	◆ 7400	◆ 7100		
並 黄 銅	700	667	セ レ ニ ウ ム	3100	2900	3100	2900		
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	601	589	ピ ス マ ス	1500	1400	1500	1400		
交 叉 ラ ジ エ タ ー	648	618	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550		
黄 銅 鋳 物	705	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450		
山 送 り (55%)	389	—	アルミ地金99.70%	◆ 374	◆ 370	◆ 376	◆ 372		
上 青 銅 鋳 物	848	—	アルミ二次地金99%	828	823	828	823		
並 青 銅 鋳 物	846	822	〃 90%	508	503	508	503		
上 青 銅 鋳 物 削 粉	841	—	アルミ二次合金ADC12	429	424	432	427		
並 青 銅 鋳 物 削 粉	831	807	鋳 物 用 C2BS	456	451	454	449		
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1064	青 銅 合 金 地 金 3 種	1580	1570	1660	1650		
〃 (鋳 物)	962	—	〃 6種	1300	1290	1355	1345		
リ ン 青 銅 削 粉	880	860	ハ ン ダ 錫 60 %	2740	2700	2760	2730		
新 切 洋 白 (電 子 材)	892	867	〃 50 %	2385	2335	2405	2375		
新 切 亜 鉛	236	236	〃 40 %	2095	2035	2050	2020		
ダ イ カ ス ト く ず	201	201	減 摩 合 金 2 種	3965	3935	3970	3940		
亜 鉛 ド ロ ス	179	190	〃 4 種	3395	3370	3400	3370		
上 鉛	145	143	〃 7 種	1200	1150	1200	1150		
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		90	85		
活 字 鉛	130	127		〃 ダライ粉		75	70		
新 切 アル ミ 1 級	260	254		高耐食ステンレスSUS316		240	240		
新 切 サ ッ シ 1 級	260	252		耐熱ステンレスSUS310		415	415		
新 切 合 金 1 級	245	232		13クローム 新切		23	24		
機 械 鋳 物 1 級	190	197		ハイス 9種		265	265		
ピ ス 付 サ ッ シ P	221	212							
合 金 削 粉 P	135	141							
込 ガ ラ P	125	130							
カ ン ・ バ ラ	183	169							



非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202212